

Guest

国際問題アドバイザー
岡本アソシエイツ代表
岡本 行夫
Yukio Okamoto



1945年、神奈川県生まれ。68年一橋大学経済学部卒業後、外務省入省。91年退官。同年、岡本アソシエイツを設立し、代表取締役役に就任。橋本内閣で96年～98年、沖縄担当総理大臣補佐官。小泉内閣で01年9月より内閣官房参与、03年4月より04年3月までイラク問題担当総理大臣補佐官を務める。国際問題の専門家として、政府関係機関や企業への助言活動の傍ら、講演や新聞・雑誌への執筆など幅広く活躍している。NPO法人「新現役ネット」理事長、立命館大学客員教授。著書に「砂漠の戦争～イラクを駆け抜けた友、奥克彦へ」（文藝春秋社）、「日米同盟の危機－日本は孤立を回避できるか」（ビジネス社）、「生きのびよ！日本」（朝日新聞社）、「ニッポン再生最前線」（都市出版）、「さらば漂流日本」（東洋経済新報社）などがある。

Piano

岡田 知子
Tomoko Okada



東京芸術大学器楽科を卒業後、北西ドイツ音楽アカデミー・デトモルトに留学。声楽の伴奏と器楽アンサンブルを学び、同校を首席で卒業。1977年1月、ベルリン・メンデルスゾーン・コンクール:ピアノ・トリオ部門第1位入賞。同年10月、ジュネーブ国際音楽コンクール:ピアノ・トリオ部門第2位(1位空席)およびスイス特別賞受賞。現在、アンサンブル・ピアニストとして内外演奏家との共演、CD録音、コンサート・プロデュースなど、多方面に活発な活動を続けている。

Violin

大津 純子
Junko Ohtsu



東京芸術大学、米国ジュリアード音楽院卒業後、NYを拠点に演奏活動を開始。ジュリアード音楽院在学中に、ジュネス・ミュージカル・インターナショナルおよびカーネギー・ホール両者による招待にてニューヨーク・デビュー。セントルイス交響楽団、シモン・ボリバル・ヴェネズエラ国立オーケストラ他との協演、リサイタル・プログラム:<The Artistry of Junko Ohtsu>のパブリックTVネットワークによる全米30都市以上への放映、また、米国でのラジオ放送出演も数多い。ロックフェラー三世財団より2年間に亘り特別グラント受賞。

国際交流基金派遣にて、ロシア、チェコ、オーストラリアなど、欧州、アジア、中南米諸国にて公演し、絶賛される。『マラゲーニャ』、『アメリカ』(1998年、「レコード芸術」誌「室内楽準推薦盤」に選出)、『Prelude to a Kiss』などCD5枚をリリース。近年は、執筆・講演などの分野にも活動の範囲を広げている。

2002年、自ら企画・プロデュースする室内楽シリーズ『Good Old Days～アメリカの＜素敵な時代＞～』を立ち上げ、日本のクラシック音楽シーンの盲点であった「知られざるアメリカ」にスポットを当てた意欲的な好企画として、大きな注目を集める。

2004年、イラストレーター・和田誠、ジャズピアニスト・佐藤彦彦と共に、ジャンルを超えて音楽を楽しもうという意図のもと、<Junko and the Night and the Music>シリーズを開始。3人の異なるバックグラウンドを生かしたユニークな企画は大好評を得ている。また、2005年より<大津純子・心のコンサート>シリーズを年2回展開中。

Please Save the Date!

心のコンサート その7 ▶▶ 2008年11月14日(金)

HILLSIDE PLAZA

- 渋谷より東急東横線で各駅停車にて一駅:「代官山駅」より徒歩3分
- 東急バス(渋谷駅発～洗足駅行)渋71「代官山駅入口」より徒歩2分
- バス/東急トランセ(渋谷駅発)「ヒルサイドテラス」下車



B棟とC棟の間の丸い建物が入口です。